

令和4年度外国人患者受入体制調整会議 開催概要

- 1 開催日時 令和4年11月7日（月） 午後1時30分～3時
- 2 開催場所 京都ガーデンパレス「葵」
(京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町605番地)
- 3 構成団体の出席者 18名
- 4 内 容

(1) 報告事項

①京都府における外国人患者受入の取組について

【健康福祉部】

- 外国人患者受入体制モデル構築事業結果概要<平成30年度事業> 【資料1-1】
- 外国人患者受入体制等整備推進事業<令和元～3年度事業> 【資料1-2】
- 外国人コロナ感染疑い患者への対応 【資料1-3】

<主な説明内容>

- ・新型コロナウイルス感染症に係る水際対策の緩和に伴い外国人旅行客の入国が再開されたことから、令和4年度は訪日外国人の新型コロナ疑い患者への対策を第一に取り組んでいる。
- ・京都府におけるコロナ相談の一元的窓口である京都新型コロナ医療相談センターについて、ホテル・旅館や薬局・ドラッグストア等への周知を行った。
- ・新型コロナ医療相談センターでは、外国人対応が可能な診療・検査医療機関の紹介をしている。
- ・新型コロナの検査結果が陽性の場合、発生届の対象外であれば、日本人と同様に各自で経過観察となる。滞在先ホテルでの療養が困難なときには、京都府健康フォローアップセンター又は京都市新型コロナ陽性者フォローアップセンターに連絡いただき、京都府の宿泊療養施設での受入について調整している。

【商工労働観光部】

- 水際対策緩和後の外国人観光客の受入に関して 【資料1-4】

<主な説明内容>

- ・健康福祉部と連携して、外国人向け医療ガイドブック等を府内の宿泊施設等に送付し、外国人旅行客が体調を崩した場合の対応について周知を行った。
- ・新型コロナ感染症対策として、マスクの着用など、外国人観光客に守ってほしいことについて、SNSやホームページで情報発信をしている。

②各団体における取組について

○「日本医師会外国人医療対策委員会での論点」

【資料 2-1】

一般社団法人京都府医師会 高階理事

<主な説明内容>

- ・外国人医療については、訪日外国人と在留外国人に分けて対策を検討する必要がある。

【訪日・在留外国人共通】

- ・拠点医療機関だけでなく、すべての医療機関において外国人に対する医療提供ができる仕組みを構築していくことが必要
- ・通訳について、生死に関わるような場合には、質の担保が非常に重要であり、医療の質の向上に向けた取組が必要。
- ・医療機関に対するワンストップ窓口の設置や対応の在り方について検討が必要。ワンストップ窓口では、相談応需だけでなく、様々な業務の代行ができることが望ましい。

【訪日外国人】

- ・旅行保険に加入いただくことが重要。また、訪日外国人の入国後にも、保険加入の有無を確認することが重要。
- ・キャッシュレス対応について、クレジットカードの手数料が高いことが診療所における導入の障壁となっていることから、整備の支援が必要。

【在留外国人】

- ・健康保険への加入を勧奨していくことが必要。
- ・通称名と本名が異なることにより、本人確認時にトラブルが発生するケースがある。

【新型コロナ】

- ・受診時の費用負担に関する説明（検査検査が陽性の場合における公費負担に係る手続き、陰性の場合における診療費の自己負担等）が十分にできていないことにより、外国人が不利益を被っているおそれがある。

【まとめ】

- ・病院、診療所、医療関係者が一丸となって、乳幼児から高齢者まで、すべての外国人に対して、拠点的な医療機関による受入から在宅医療に至るまで、日本人と同じような安全・安心な医療を提供できるような体制を構築していくべき。
- ・ワンストップ窓口の在り方、医療通訳サービスによる支援、未収金に対しての補填事業などは、都道府県により取組にばらつきがあるので、京都府としてどのように対応していくか検討する必要がある。

○「外国人患者に関する取組について」

【資料 2-3】

京都市観光 MICE 推進室、京都市観光協会

<主な説明内容>

- ・京都市観光協会とともに外国人観光客向け京都観光オフィシャルサイト「Kyoto City Official Travel Guide」を運営。6月10日の外国人観光客受入再開に合わせて、コロナ対策に関する情報も掲載している。

○「日本語を介してのコミュニケーションが困難な方からの 119 番通報

及び災害現場の対応について」 京都市消防局 清川担当課長

【資料 2-4】

<主な説明内容>

- ・日本語を介してのコミュニケーションが困難な方からの 119 番通報及び災害現場の対応について、多言語通訳、多言語対応救急活動シート、救急ボイストラ（多言語翻訳アプリ）などにより実施している。

(2) 意見交換

【資料 3-1、3-2】

- ・外国人新型コロナ感染症疑い患者への対応
- ・外国人患者への一般医療の提供体制
- ・その他

<主な意見>

- ・新型コロナ対応は病院にとってかなりの負担である。新型コロナの感染者が増加したときに外国人対応がどこまでできるか不安。
- ・医療機関における外国人医療の体制整備について、現場レベルでの対応というのはかなり厳しく、行政からの支援が必要。
- ・特に夜間など、スタッフが手薄なときの外国人患者への対応は困難。
- ・短期的な取組（コロナ対応等）と長期的な対応を同時に考えることは難しい。行政主導で長期的な方向性を考えてほしい。
- ・世界的な観光都市・京都として、京都の外国人医療は安心だということを目玉に観光を盛り上げることもできるのではないか。
- ・外国人とのコミュニケーションについて、ポケットクやスマートフォンを活用することで、大きな問題は生じていないが、翻訳機等の非対応言語についてはジェスチャーでのやり取りなどで苦勞している。